

外国語  
(英語)

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

東書

1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各ユニットは、新出言語材料を習得するために、基本文の語彙を入れ替えて練習するドリル形式の基本練習のあと、「聞く」あるいは「話す」言語活動を従って「書く」言語活動を配列している場合と、本文内容に関する英問英答を「読む」活動として配列している場合の2種類があり、3年間を通して考えると4技能のバランスについては配慮されている。《③》

2. 教育基本法に基づく観点

異文化、国際理解、日本の伝統・文化、自然科学、環境などをテーマにした題材が3年間を通して繰り返し扱われると同時に、人権、平和、共生などの今日的課題も取り上げ、幅広い題材を通してグローバル化に対応できる力の育成を目指している。《⑥》

3. 学習指導要領に基づく観点

各学年3回ずつ配列されているPresentationは3年間を通して9回あり、一定期間の学習内容を活用した統合的な言語活動が行えるように工夫されている。1年は会話中心に構成されており、2・3年にも会話が比較的多く取り入れられている。学習した内容を用いて日常のコミュニケーションの方法を学べるよう、Unitに「Daily Scene」、「Activity」が設けられ、4技能をバランスよく育成できる内容となっている。《③》

4. 外的要素に関する観点

日常生活場面での活用を想定したDaily Sceneでは、登場する家族を一貫させ、同じ人物の写真を使用するなど工夫されている。《③・④》

5. 構成・配列に関する観点

各Unitで提示される新出文法事項を習得するための基礎的な言語活動は、4技能のバランスに配慮されている。また、Unitの学習後に、まとめと練習ができるようになっており、既習事項を繰り返し練習できるように構成されている。《②》

6. 資料その他に関する観点

資料編以外のページは紙面に余白もあり、生徒が書き込むスペースなども確保されている。本文の内容理解のために、写真・イラスト・資料性の高い図表などが適切に配置されている。《①》

大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

外国語  
(英語)

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

開隆堂

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

1. 2年生では、会話を中心に構成されており、3年でも会話が多く取り入れられている。「Power-up」、「My Project」において、インタビュー活動や日本文化を紹介するスピーチ等、4技能をバランスよく育成しながらコミュニケーション能力を養う内容になっている。また新出文法事項は「Basic Dialog」として提示され、基本練習は「Listen」、「Speak」、「Try」で示され、生徒が段階的に習得できるよう配慮されている。《⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

国際平和、異文化理解、男女平等、自他の敬愛等が題材として取り扱われ、具体的には、トルコと日本の友好関係の歴史、マララ・ユスフザイの国連でのスピーチ、再生可能エネルギーやリサイクル等を通じての環境保護、物語「かわいそうなゾウ」等の様々な題材を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を豊かな心情を育てる内容が取り扱われている。《②・④》

3. 学習指導要領に基づく観点

小学校内容を扱うLet's Startの内容が充実しており、小学校の時に音声として学んだ単語は色を分けるなどの工夫がされている。アルファベットの習得に関しても、「アルファベットになれよう」、「アルファベットがあらわす音を聞いてみよう」、「アルファベットを書こう」、「アルファベットであそぼう」と段階的に学習ができるように配慮されている。また「Power-up」はListening、Speaking、Writingとも複数の技能を統合し、段階的に目標に到達できるように構成されている。《⑩》

4. 外的要素に関する観点

生徒が親しみやすいイラストを使用し、色使いも鮮やかで見やすい。写真も幅広い分野のものが取り入れられていて、生徒の興味を惹く内容となっている。《②・③》

5. 構成・配列に関する観点

文法事項の指導について、各プログラムごとに「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能を取り混ぜた言語活動ができるような工夫がされている。《①》

6. 資料その他に関する観点

写真やイラスト図表は、各プログラムの題材に応じた適切なものが使用されていて、内容を理解するために効果的である。《①》

外国語  
(英語)

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

学園

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各レッスンは、本文にあたる部分の語数が比較的多く、読み物の教材としても使用できる。各学年とも会話を中心に構成されている。各Chapterの冒頭に学ぶ内容が示され、生徒が学習の見通しを持ち、主体的に学習できるよう配慮されている。4技能を用いた言語活動がバランスよく構成され、コミュニケーション能力の基礎が育成されるような構成となっている。《③》

2. 教育基本法に基づく観点

日本の伝統文化、日常生活・風俗習慣、国際理解、自然科学、環境問題など、多様な題材を通して英語を学ぶことができる内容となっている。これらの題材を通して、どのような表現を学ぶのか、また、何ができるようになるのかは各Chapterの扉ページに示されており利用しやすいように配慮されている。《①》

3. 学習指導要領に基づく観点

各Chapterのあとに続くChapter Projectは、4技能統合型のタスクとなるよう使用場面や必要な語彙などをふまえた工夫がされている。各学年とも会話を中心に構成されている。各Chapterの冒頭に学ぶ内容が示され、生徒が学習の見通しを持ち、主体的に学習できるよう配慮されている。4技能を用いた言語活動がバランスよく構成され、コミュニケーション能力の基礎が育成されるような内容構成となっている。《③》

4. 外的要素に関する観点

全体を通してはっきりとした色使いが多く鮮明ではある。文字の大きさ、行間とも学年に応じて配慮され、見やすくなっている。《②》

5. 構成・配列に関する観点

各レッスンは本文と「聞く」「話す」「書く」言語活動を通して新出文法を習得できるように構成されている。各Lessonの終わりの「Review」において、1年では聞く、話す、書くこと、2・3年では聞く、話す、読む、書くことの言語活動を通して、学習した文法事項の定着を図るよう工夫されている。《②》

6. 資料その他に関する観点

イラストや図は色鮮やかで、B5版であるにも関わらず、大きくわかりやすく配慮されている。《①》

外国語  
(英語)

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

三省堂

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各レッスンは、「読む」「聞く」「書く」「話す」ことの言語活動を通して基礎・基本を習得するGETとそれらを活用するUSEで構成され、確実に知識・技能を身につけ、段階的に高められるように工夫されている。3年間を通して、基本的なものから発展的な内容へと段階を踏んだ言語活動が豊富で内容も充実しており、学力の向上をめざす構成となっている。特に読むことに関しては、まとまった内容の長文を読むLet's Readや巻末付録のFurther Readingに加え、1年生の後半から各レッスンに様々なジャンルの読み物教材があるため、中高一貫教育校として高等学校へのスムーズな接続を図るうえで活用しやすい。《②》

2. 教育基本法に基づく観点

異文化、伝統芸能、自然科学、共生、ことば、人間、社会など、生徒の興味を惹きつけ、知的好奇心を引き出し、心を揺さぶる多彩な題材が魅力的であり、豊かな教養と知識を身につけるうえで効果的である。また、ゴールボールや車いすバスケットボールといった障がい者スポーツやキング教師のスピーチを通して人種差別の問題について考える題材も含まれており、多様なものの見方・考え方や公正な判断力を身につけることができる。《①》

3. 学習指導要領に基づく観点

各レッスンではGETで基礎的な知識・技能を習得し、USEでそれらを活用し、さらにLet's Listen, Let's Talk, Let's Readでより一層の技能の向上をめざすことができる構成となっている。Project は各学年3回ずつ様々な活用場面を想定して配置されており、4技能を統合したタスク型の言語活動を通して、既習事項を活用しながら目標達成をめざすことができるように工夫されている。《⑥》

4. 外的要素に関する観点

教科書のサイズが大きくなったことで、必要な情報やイラスト、図などが適切に配置されている。また、各レッスンの導入部分であるGETでは、文字を少し大きめの手書き風にしたり、Let's Talk でそれぞれの人物が発する言葉を吹き出し風のレイアウトで提示したりすることによって、中学生が受け入れやすくなるよう工夫されている。《③・④》

5. 構成・配列に関する観点

新出文法事項は、GET内のDrill とPracticeを通して、「聞く」、「話す」、「書く」言語活動を通して反復練習させることで定着を図り、USE で技能ごとに活用することができるよう工夫されている。《②・③》

6. 資料その他に関する観点

写真やイラストは各レッスンの題材に応じた適切なものが使用されている。また、Speaking, Writing の言語活動のページにあるWord Bank と付録の「いろいろな単語」や「会話表現」のページは、生徒に自己表現をさせるうえで活用しやすい。さらに、付録の「絵でわかるしくみ」や「いろいろな符号」も見やすく配列されている。《①》

外国語  
(英語)

教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙

教出

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各学年とも会話を中心とした構成になっている。基礎的、基本的な知識やスキルを培う段階から、相手の意見を聞き自分の意見を英語で言えるようになる段階まで、各Lessonにおいて、「Hop」、「Step」と段階的に学習を進められるよう配慮され、続く「Jump」ではガイドブック作成や卒業スピーチ等、4技能をバランスよく育成する内容となっており、コミュニケーション能力の基礎を養う内容となっている。《⑧》

2. 教育基本法に基づく観点

落語や京料理、出汁と旨味など、生徒の興味を惹きつける題材で、日本の伝統と文化を尊重し、「Guide Dogs」を通して障害者理解、「The Diary of Ann Frank」のアンネ・フランクの生き方を通して平和について考える平和学習等が題材として取り扱われ、公正な判断力を養い、生命を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性を育む内容となっている。《①・⑥》

3. 学習指導要領に基づく観点

小学校における外国語活動とスムーズにつながるよう、「あいさつ」、「身のまわりの英語」、「アルファベットに親しもう」、「アルファベットの音とつづりに親しもう」、「数字」、「曜日」、「教科」、「色」など豊富な内容である。また、教科書に書き込むペンマンシップ的なページも設けられている。《⑩》

4. 外的要素に関する観点

文字の大きさ、行間は読むのに適切なものとなっている。全体のデザインやレイアウトに統一感があり、文字の大きさや行間は学年ごとに変化をつけているなどの配慮がなされている。《③》

5. 構成・配列に関する観点

各レッスンにおいて学習した、新出文法事項を使って「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」などのコミュニケーション活動ができる「Activity」が設けられるとともに、「Listening Tips」、「Writing Tips」、「Reading Tips」、「Conversation Tips」でそれぞれの技能のコツを学び活用できるような工夫がなされている。また「Project」においても4技能を統合した言語活動ができるよう配慮されている。《②・③》

6. 資料その他に関する観点

挿絵、図表、写真は、各レッスンの題材に応じた適切なものが使用されている。生徒の学習意欲理解を高め、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品世界を生かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載しているが、工夫が求められる。《①》

**1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点**

グローバル化が進む国際社会の中でその一員として、力強く生き抜くために必要な考える力を育む題材として、「Visas for 6,000 Lives」、「A Guest from Cambodia」、「No More Landmines」など様々な視点から世界を見る教材が豊富である。また1年生の「Tina and Japan」では日本の食べ物や、場所、文化などを題材にし、外国に紹介したい日本の伝統や文化について考えさせるきっかけとなる。《⑥・⑦》

**2. 教育基本法に基づく観点**

「Tina's Student Network」を通して、地球温暖化やクリーンエネルギーを題材にして、地球環境の保全に寄与する態度を養うことに配慮されている。また「Visas for 6,000 Lives」や「No More Landmines」などで生命の尊さについて考えさせる内容となっている。《④》

**3. 学習指導要領に基づく観点**

各学年とも会話を中心とした構成になっており、自然な会話表現が取り入れられている。「Try it!」、「You can do it!」の言語活動や「Go for it!」でのスピーチ、新聞作成、ディベート等の自己表現活動を通して、4技能をバランスよく育成し、コミュニケーション能力の基礎を養う内容となっている。《⑧》

**4. 外的要素に関する観点**

生徒が親しみやすいイラストを使用し、色使いも鮮やかで見やすい。写真も幅広い分野のものが取り入れられていて、生徒の興味を惹く内容となっている。また、1年生の「Word Square」は色使いもきれいで見やすい。《④》

**5. 構成・配列に関する観点**

各ユニットで新出文法事項について、ドリル練習的な「Try it!」、発展学習的な「You can do it!」を通して定着させる工夫がなされている。《⑩》

**6. 資料その他に関する観点**

挿絵、図表、写真は、各レッスンの題材に応じた適切なものが、使用されている。生徒の学習意欲、理解を高め、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品世界を生かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載している。《⑩》